

本校基本理念

共に生きる 愛と共感の教育

目指す児童生徒像（校訓）

自分らしく … 輝く つながる ふみ出す

教育目標

児童生徒一人一人が今を充実させるとともに、  
自分の思い描く未来に向けて可能性を広げる 教育の実現

児童生徒が身に付けてほしい力

- ①「輝く」 ～自分らしさを発揮し、充実した生活を送る力～
- ②「つながる」 ～自分らしく人と関わり、豊かな人間関係を築く力～
- ③「ふみ出す」 ～自分らしい自立に向けて、挑戦し続ける力～

	I 課程	II 課程	III 課程	訪問教育
小学部	①自分のよいところを見付ける。 ②教師や友達とよりよい関係づくりをする。 ③学ぶ楽しさを味わい、学習の習慣を身に付ける。	①見通しをもち、楽しく学校生活を送る。 ②友達との関わりを楽しむ。 ③様々な方法で、自分の気持ちを表現する力を身に付ける。	①生活のリズムを整え、学校生活の楽しさを味わう。 ②身近な人に、快・不快、好き・嫌いを表情や身振りで表す。 ③「好きなこと」を見付ける。	①生活のリズムを整え、学校生活の楽しさを味わう。 ②身近な人の働き掛けに表情や身体の動きで応える。 ③「心地よいこと」「好きなこと」を見付ける。
中学部	①自分を知り、自己を振り返り生活に生かす。 ②一対一の間関係づくりから始め、仲間づくりをする。 ③継続して学習する力を身に付ける。	①自分のよさに気づき大切にする。 ②教師や友達とのやり取りを通して、コミュニケーションに必要な態度やスキルを身に付ける。 ③好きなことや得意なことに継続して取り組む力を身に付ける。	①生活のリズムを整え、安定した学校生活を送る。 ②身近な人に好き・嫌い、はい・いいえ等の気持ちを表現する。 ③「好きなこと」に十分取り組み、生活の楽しみにつなげる。	①生活のリズムを整え、安定した学校生活を送る。 ②身近な人の働き掛けに一定の方法で応える。 ③「心地よいこと」「好きなこと」を十分楽しむ。
高等部	①自分の個性や長所を伸ばし、充実した生活を送る。 ②学校生活や社会生活の中で自分に合った方法で人と関わり、豊かな人間関係を築く。 ③進路実現に向けて、必要な力を見極め、挑戦し続ける。	①自分の得意なこと・好きなことに取り組み、個性や長所を発揮して、充実した学校生活を送る。 ②他者と関わる楽しさや人の役に立つ喜びを通して、よりよい人間関係を築く力を身に付ける。 ③卒業後の生活に向けて、社会的自立に必要な態度やスキルを身に付ける。	①生活リズムを整え、健やかに充実した学校生活を送る。 ②自分の思いを身近な人に伝えるための方法やスキルを身に付ける。 ③「自分の好きなこと」を広げ、卒業後の生活をより豊かに楽しむ力を身に付ける。	①生活のリズムを整え、充実した学校生活を送る。 ②身近な人に表情や身体の動きで気持ちを伝える。 ③「心地よいこと」「好きなこと」を広げ、生活を楽しむ力につなげる。

目指す学校像…「認め、ほめ、励まし、伸ばす」熊本の教職員像の実践

- 児童生徒の命を守り、心に寄り添い、「愛と共感の教育」を実践する温かみのある学校
- 児童生徒が「来てよかった」、保護者が「通わせてよかった」、地域が「地域にあってよかった」、職員が「勤務してよかった」と思える学校
- 個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、多様な児童生徒の教育的ニーズに適切に対応し、持てる力を伸ばす学校
- 特別支援教育及び病弱教育についての高い専門性を有し、地域のセンター的機能を発揮する学校
- 職員が生き生きと働き、共に前進するチームワークのよい学校

## 本年度の重点目標

### 【安全・安心な学習環境づくり】 一人一人が安全・安心に学ぶことができる学習環境づくり

- ・「支援振り返りシート」を活用し、自身の言動を客観視しながら、高い人権感覚と優しい心をもって、児童生徒の安全・安心な学習環境の確保に努める。(企画調整)
- ・環境整備計画を共有して、気持ちよく過ごせる学校環境をみんなでつくる。(総務部)
- ・危機意識をもち、防災教育及び訓練等を通して、緊急時に備えた体制を築く。(総務部)
- ・日々の関わりを通して児童生徒理解を深め、相談しやすい環境を整え、小さなサインを見逃さず、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を徹底して、一人一人が安全・安心に過ごせる学校をつくる。(生徒指導部)
- ・生活場面に即した情報モラル教育の系統的な指導計画に基づいて実践を展開し、自分を守る判断力の向上につなげる。(生徒指導部)
- ・全職員で感染症に対する意識を高く持ち、校内に入れない、広げない対策を徹底する。(保健部)
- ・ヒヤリハット情報を迅速に共有し、未然・再発防止策及び緊急時対応につなげる。(保健部)

### 【授業力の向上】 一人一人が充実感を味わうことができる質の高い授業の実践

- ・自立活動及び各教科等の関連付けを意識し、児童生徒が「分かった」「できた」という充実感をもてる授業づくりを徹底する。(教務部・研修部・教育支援部)
- ・一人一人のできる動きや興味関心を生かし、自己選択・決定できる学習環境をつくる。(研修部・情報教育部・教育支援部)
- ・外部専門家の活用を含めたニーズに応じた研修や学部内外のよりよい実践及び既存の優れた教材、先行事例等の共有・学び合いを充実させ、職員一人一人がスキルアップを実感できるようにする。(研修部・情報教育部・教育支援部)
- ・一人一人の困り感を把握・共有し、ケース会議を活用しながら最適な支援策を導き続け、児童生徒の豊かな学び及び生活の確保につなげる(教育支援部)

### 【社会的資質・能力の育成】 一人一人が卒業後の生活を豊かにすることができる学びの展開

- ・熊本高等専門学校や各種事業所・企業等と連携・協働し、在学中から卒業後の生活を豊かにするICT活用・教材開発を推進する。(情報教育部・教育支援部)
- ・年間指導計画に基づく様々なキャリア学習を、キャリア・パスポートを活用しながら関連付け、本人の自己理解の深化及び保護者との情報共有につなげる。(進路指導部)
- ・福祉制度や関係機関の状況及び卒業生のフォローアップを通じた情報等を踏まえながら、進路指導及び保護者を含めた進路研修の充実を図り、よりよい進路選択や支援体制の拡充につなげる。(進路指導部)

### 【働き方改革の推進】 心身ともに健康に働ける職場環境づくり

- ・限られた時間の中で、効率的に業務対応しやすい体制を整備(業務内容の精選・平準化、校務のDX化、定時退勤日設定等)し、授業準備や自己研鑽の時間・機会を生み出し、やりがいや働きがいの高まりにつなげる。(企画調整)
- ・職員相互の心身の状態や家庭生活・環境、経験値に対して、支え合う姿勢を大切にし、教職員としての基本的資質及び専門性を高め合う優しさあふれる職場環境にする。(企画調整)
- ・教職員としての自覚・意識の向上を図りつつ、心身のリフレッシュを積極的に推奨しながら、各々が不祥事防止に向けて、「しない」「させない」よう努力し続ける組織文化を醸成する。(企画調整)